

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年9月11日

【事業年度】 第86期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

【会社名】 株式会社ガイドーリミテッド

【英訳名】 DAIDOH LIMITED

【代表者の役職氏名】 取締役社長 安江 恵

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

【電話番号】 03(3257)5022

【事務連絡者氏名】 経営管理室長 福羅 喜代志

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

【電話番号】 03(3257)5022

【事務連絡者氏名】 経営管理室長 福羅 喜代志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出いたしました第86期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

4 事業等のリスク

7 財政状態及び経営成績の分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

4 【事業等のリスク】

（訂正前）

（前略）

（財務制限条項）

当社は、平成17年5月18日付けで金融機関とのあいだでシンジケートローン契約を締結しており、当連結会計年度末（平成21年3月31日）における当該借入金残高は1,875百万円でありました。当連結会計年度末において、財務制限条項の一部（各年度の決算期及び中間期における連結の貸借対照表における資本の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。）に抵触いたしました。

当社グループは、期末における現金及び現金同等物残高を2,630百万円有しており、平成21年4月28日に売却いたしました投資有価証券の売却代金1,598百万円の入金を予定しております。さらに6月には流動資産の有価証券の償還1,000百万円があり、将来に対する資金予定には問題がないと考えております。

当社は、主幹事会社を通して多数の貸付人の金融機関に上記の財政状態・資金計画等を説明し、期限の利益喪失の権利を行使しない旨の同意を頂いております。

（訂正後）

（前略）

（財務制限条項）

当社は、平成17年5月18日付けで金融機関とのあいだでシンジケートローン契約を締結しており、当連結会計年度末（平成21年3月31日）における当該借入金残高は1,875百万円でありました。当連結会計年度末において、財務制限条項の一部（各年度の決算期及び中間期における連結の貸借対照表における資本の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。）に抵触いたしました。

7 【財政状態及び経営成績の分析】

（訂正前）

（前略）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、配当金の支払い2,824百万円、銀行借入金の返済2,918百万円および自己株式買付による支出1,000百万円があり、短期借入金の調達500百万円を行いました。財務活動のキャッシュ・フローは、6,239百万円の支出超過となりました。

(訂正後)

(前略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、配当金の支払い2,824百万円、銀行借入金の返済2,918百万円および自己株式買付による支出1,000百万円があり、短期借入金の調達500百万円を行いました。財務活動のキャッシュ・フローは、6,239百万円の支出超過となりました。

(財務制限条項抵触に関する対処)

当社グループは、期末における現金及び現金同等物残高を2,630百万円有しており、平成21年4月28日に売却いたしました投資有価証券の売却代金1,598百万円の入金を予定しております。さらに6月には流動資産の有価証券の償還1,000百万円があり、将来に対する資金予定には問題がないと考えております。

当社は、主幹事会社を通して多数の貸付人の金融機関に上記の財政状態・資金計画等を説明し、期限の利益喪失の権利を行使しない旨の同意を頂いております。